

[抄録様式]

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
<p>1. 事業名：</p>	<p>NPOとの協働による住民参加型歯科保健推進事業（は～もに～プロジェクト）</p>
<p>2. 申請者名：</p>	<p>新潟県歯科医師会</p>
<p>3. 実施組織：</p>	<p>は～もに～プロジェクト</p>
<p>4. 事業の概要：</p>	<p>今回、新潟市江南区社会福祉協議会の協力を得ながら、地域の配食サービスを実施している「曾野木七味の会」、および曾野木地区在宅福祉活動推進委員会と在宅高齢者へのアプローチ方法を検討した。地域福祉活動を実施しているかたがたを集めた「地域の茶の間・いきいきサロン・子育てサロン事業勉強会」において研修を行った。また、民生委員が行う各在宅高齢者へアプローチ方法について検討した。事業名を「笑顔の宅配プロジェクト」とした。まだ取り組みとしては初期的な段階であり、今後とも継続した取り組みが必要である。</p>
<p>5. 事業の内容：</p>	<p>高齢者にとって嚥下機能の低下、よくかめない、口が渇く、むし歯、歯周病などは体の健康状態に係わることが知られている。最近、介護予防に関する事業なども行われ成果を上げてきた。しかし、事業に参加されず在宅におられる高齢者の方に対してはなかなかアプローチができずにいた。本事業は、新潟市江南区において、配食サービスを利用されている在宅高齢者を対象に、口腔の健康維持への支援を行う仕組みを作ることを目的としている。事業名を「笑顔の宅配プロジェクト」とした。新潟市江南区社会福祉協議会の協力を得ながら、地域の配食サービスを実施している「曾野木七味の会」、および曾野木地区在宅福祉活動推進委員会と在宅高齢者へのアプローチ方法を検討した。地域福祉活動を実施しているかたがたを集めた「地域の茶の間・いきいきサロン・子育てサロン事業勉強会」において研修を行った。また、民生委員が主体となった各在宅高齢者へのアプローチ方法について検討した。新潟市江南区では、江南区社会福祉協議会および民生委員が主体となり、高齢者を対象とした「地域の茶の間」を約 10 カ所で開催している。また、「地域交流スペース」を設置し活動を行っている NPO 法人がある。それらの事業を活用し、まず、参加された高齢者に口腔リハビリを実施することとした。また、月一回実施している宅配サービスに民生委員が同行し、研修会で得られた知識を基にワンポイントアドバイスを行うこととなった。その際、口腔に課題が生じていた場合には新潟市歯科医師会が運営している在宅歯科医療連携室につなげ支援を得ることとした。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p>	<p>研修会等を通して関係者の理解を得ることができ、事業を展開するめどが立った。取り組みとしては初期段階であり、今後とも継続した取り組みが必要である。まずは、最終的には地域で自立して取り組んでいただくことを視野にマネジメント機能をどこが担うのかきちんと整理する必要がある。</p>